

図1 遅延係数が1.0と2.0の場合の地下水流れ方向に沿った濃度分布（実流速=0.5m/d, 縦分散長=1.0m, 屈曲度=1.0, 分子拡散係数=1.0×10⁻⁵cm²/s, 経過時間=100日）

【希望縮小率：半幅】

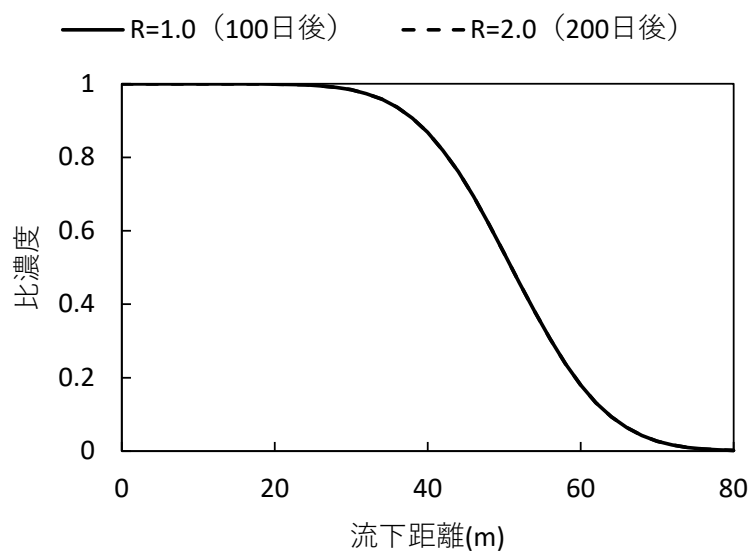


図2 遅延係数が1.0と2.0の場合の地下水流れ方向に沿った濃度分布（実流速=0.5m/d, 縦分散長=1.0m, 屈曲度=1.0, 分子拡散係数=1.0×10⁻⁵cm²/s, 経過時間=100日(R=1.0), 200日(R=2.0)）

【希望縮小率：半幅】

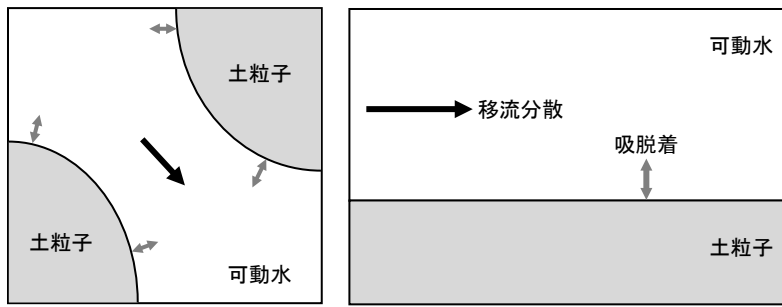


図3 モデル1の概念図

【希望縮小率：全幅】

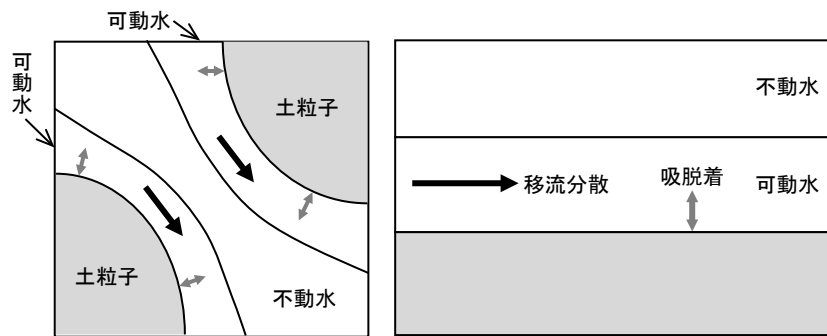


図4 モデル2の概念図

【希望縮小率：全幅】

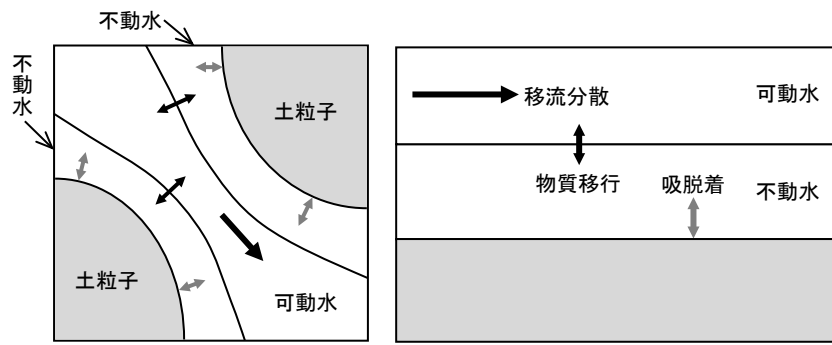


図5 モデル3の概念図

【希望縮小率：全幅】

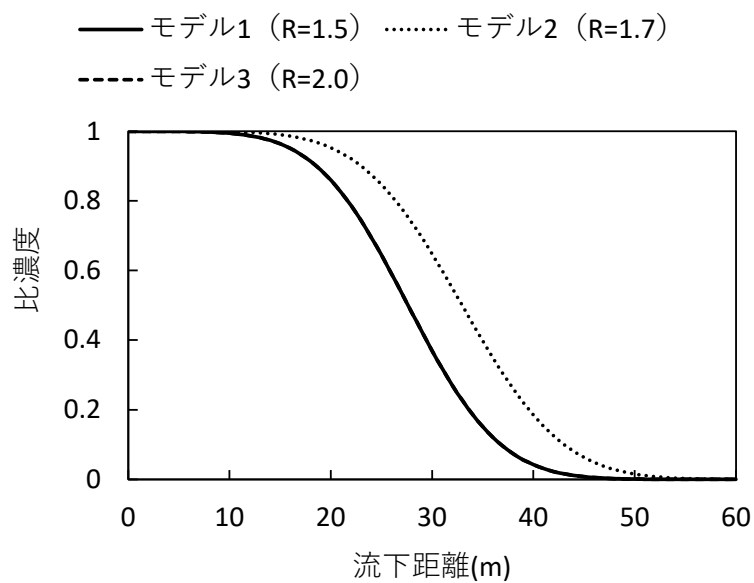


図6 地下水流れが速い場合の3つのモデルの地下水流れ方向に沿った濃度分布
 (ダルシー流速=0.2m/d, 全間隙率=0.4, 有効間隙率=0.3, 縦分散長=1.0m, 屈曲度=1.0, 分子拡散係数= $1.0 \times 10^{-5} \text{cm}^2/\text{s}$, 経過時間=80日)

【希望縮小率：半幅】

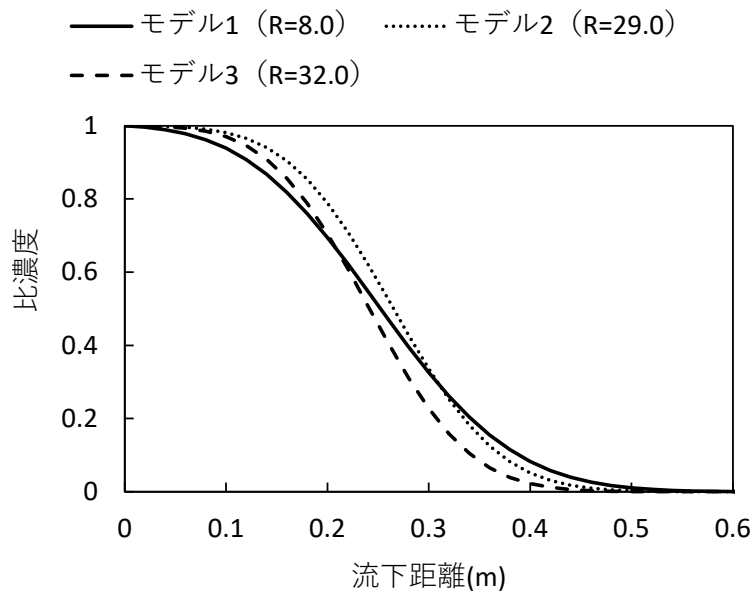


図7 地下水流れが遅い場合の3つのモデルの地下水流れ方向に沿った濃度分布
 (ダルシー流速=0.002m/d, 全間隙率=0.4, 有効間隙率=0.1, 縦分散長=0.01m, 屈
 曲度=1.0, 分子拡散係数=1.0×10⁻⁵cm²/s, 経過時間=365日)

【希望縮小率：半幅】